BOM for Windows Ver.8.0

ソフトウェア動作環境

BOMコンポーネント サポート環境 ※1

	OS・アプリケーション	バージョン・エディション	サービスパック・Update
基本パッケージ Report オプション ※2	Windows Server 2022 ※3	Standard Edition, Datacenter Edition	Update なし
	Windows Server 2019 ※3	Standard Edition, Datacenter Edition	Update なし
	Windows Server 2016 ※3	Standard Edition, Datacenter Edition	バージョン 1607 以降
	Windows 11	Pro, Enterprise	Update なし
	Windows 10	Pro (64-bit), Enterprise (64-bit)	20H2 以降
	Windows Server IoT 2022 ※4	Storage Standard, Storage Workgroup	Update なし
	Windows Server IoT 2019 for Storage ※4	Standard, Workgroup	Update なし
	Windows Storage Server 2016 ※4	Standard, Workgroup	Update なし
集中監視コンソール ※5	Internet Explorer	11にて表示検証	
	Microsoft Edge (Chromium ベース)	96.0.1054.62 (64-bit) にて表示検証	
	Google Chrome	96.0.4664.110 (64-bit) にて表示検証	
Oracle オプション	Oracle Database 21c for Microsoft Windows x64		
	Oracle Database 19c for Microsoft Windows x64		
SQL Server オプション	SQL Server 2019	各エディション	SPなし
	SQL Server 2017	各エディション	SPなし
	SQL Server 2016	各エディション	Service Pack 3
	SQL Server 2014	各エディション	Service Pack 3
Linux オプション ※6	Red Hat Enterprise Linux	8.0 以降 (64bit)	
		7.1 以降 (64bit) ※7	
	Ubuntu	22.04 (LTS)	
		20.04 (LTS)	
		18.04 (LTS)	
VMware オプション	VMware ESXi	6.7 / 7.0	
	VMware vSphere	6.7 / 7.0	

※1 OSへの対応検証はサービスパック単位となっており、個別パッチ(Hotfix、QFEなど)毎の検証は行っていません。ただし、個別パッチがBOMの動作に影響を与える場合は、弊社ウェブサイトにて情報を提供いたします。
各OSについてMicrosoft社の延長サポート終了日までの対応となります。延長サポート終了日以降に該当OS上で不具合が発生した場合、サポートは対象外となります。
※2 レポートクライアントの動作にはMicrosoft .NET Framework 4.6.2以降のインストールが必要です。
※3 Server Core、Nano Serverインストールの場合、代理監視機能によるリモート監視のみサポートしています。
※4 Storage Server製品群では、BOMオプション製品は動作対象外です。また、代理監視機能によるエージェントレス監視のみサポートしています。ローカル監視をご検討の際は別途弊社テクニカルサポートへご相談ください。
※5 表示検証を実施したブラウザを記載しています。
※6 監視対象コンピューターにはOpenSSH(Ver.2.3.0 以上)、Perl(v5.8.0 以上)のインストールが必要です。
※7 Red Hat Enterprise Linux 7.0はサポート対象外です。

BOMアーカイブデータベースサポートDB ※1

	バージョン	エディション	サービスパック
SQL Server	SQL Server 2019	Express Edition ※2	なし
		Standard Edition	
		Enterprise Edition	
	SQL Server 2017	Express Edition ※2	なし
		Standard Edition	
		Enterprise Edition	
	SQL Server 2016	Express Edition ※2	SP3
		Standard Edition	
		Enterprise Edition	
	SQL Server 2014 (32-bit/64-bit)	Express Edition ※2	SP3
		Standard Edition	
		Business Intelligence	
		Enterprise Edition	

※1 各データベースが動作するOSは、それぞれのデータベースの動作要件に準拠します。BOM 8.0アーカイブデータベースを構築する際、SQLインスタンスは「SQL混合認証」で作成してください。
※2 アーカイブデータベースとしてExpress Editionを使用することができますが、一部の機能が利用できません。
アーカイブ対象コンピューターが5台以下の小規模環境、もしくは評価環境に限定して使用してください。アーカイブ対象コンピューターが10台以上の環境はサポート対象外です。

「BOM for Windows」に関するお問い合わせ・評価利用および各種情報は、下記のWebサイトへ

https://www.say-tech.co.jp/product/bomwin80

セイ・テクノロジーズ株式会社
〒112-0005 東京都文京区水道一丁目12番15号 白鳥橋三笠ビル8F
TEL：03-5803-2461　FAX：03-5803-2463

本カタログに掲載されているBOMはセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server、Microsoft Edge、Internet Explorer、.NET Framework は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。その他の会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。なお、本文および図表中では、「™(Trademark)」、「®(Registered Trademark)」は明記しておりません。

Technologies

自立分散型サーバー監視ソフト

BOM for Windows

Version 8.0

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

小規模な案件も逃さない！
限られたリソースで最適なシステム運用サービスを
可能にする BOM for Windows Ver.8.0

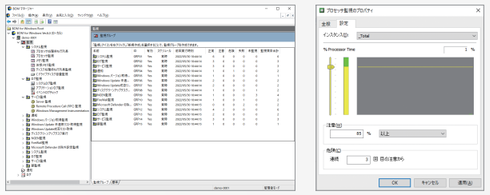
～圧倒的な水平展開のしやすさと高品質なサーバー運用を両立～

システム運用を低コストでアウトソーシングしたいユーザー企業と省力で高品質な運用サービスを提供したい保守サービス事業者に朗報です！BOM for Windowsは、これまで強化を続けてきたGUIベースの分かりやすい設定と、正常稼働や異常の通知といった「情報」に加え、「知識」を保守サービス事業者に提供し、保守サービス事業者が培った「経験」と組み合わせることで高品質なシステム運用ビジネスの拡大を支援します。

BOM for Windows Ver.8.0 の特長

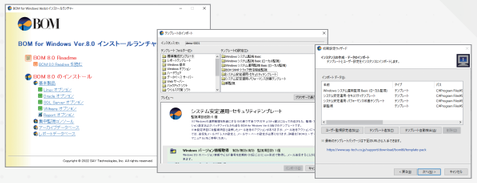
こだわり抜いたGUIで属人化を排除

BOMは監視に求められる設定をGUIのみで完結でき、システム管理者のスキルレベルに依存しないため、属人化を排除。



クリックのみ！最短10分で監視スタート

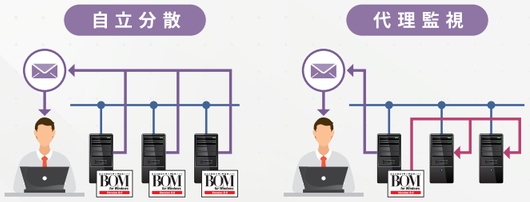
ウィザード形式のインストーラと豊富に用意された監視テンプレートを利用することで最短10分で監視をスタート。監視対象にあわせて、監視すべきテンプレートを自動検出できるため、「そもそも何を監視すべきか判断できない」といった悩みも解消します。



※監視テンプレートは随時追加されます
https://www.say-tech.co.jp/bom/temp-list

柔軟性と拡張性の両立

マネージャーサーバーなど不要で監視対象にインストールしたBOM自身が監視や通知などを実行する「自立分散」と監視対象にインストールせずネットワーク経由で実行する「代理監視（エージェントレス監視）」を予算や要件にあわせて選べます。



安心の純国産/国内サポート

BOMは日本国内で開発された純国産アプリケーションです。サポートについても日本国内で行っており、販売開始から20年以上の実績があります。

幅広い監視範囲

監視項目
- レスポンス監視
- リソース監視
- サービス・プロセス監視
- ログ監視
- ハードウェア監視
- ネットワーク監視

対応範囲

自立分散型サーバー監視ソフト BOM for Windows Version 8.0

連携 ハードウェア監視ツール

連携 ネットワーク監視ツール

- HTTPアクセス応答監視やカスタム監視を利用して実現
- Windows OSはもちろん、VMwareやLinux、Oracle、SQL Serverにもオプションで対応
ミドルウェアや様々なテキストログの形式に対応しており、数多くのアプリケーションの監視が可能
- iLO監視やiRMC監視以外にもイベントログ監視やSNMPトラップを通じて様々なハードウェア監視ツールと連携可能
- SNMPトラップを通じてネットワーク監視ツールと連携
その他、統合運用ツールとも連携可能

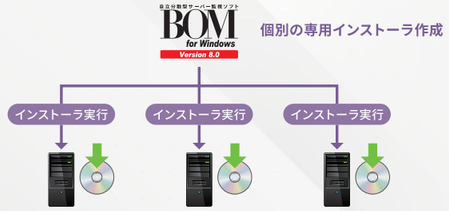
高品質なシステム運用サービスを実現する機能

システム運用サービスとして活用できる運用テンプレート

テクニカルライター山市良氏のノウハウなどを反映した運用テンプレートを無償で提供。予算が少ない小規模のシステム運用案件でも要件定義や設計などの工数を削減し、すぐに運用サービスを提供できます。

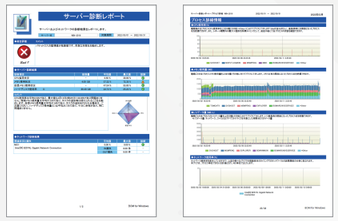
水平展開しやすい専用インストーラでサービス品質を標準化

ワンクリックであらかじめ設定したBOMの設定情報ごとインストールできる専用インストーラを作成可能。システム運用サービスにおいて、属人化やエンジニアによる設定のばらつきが発生しやすいインストール作業を簡素化かつ標準化を実現。



顧客満足度の向上や商談の創出に貢献

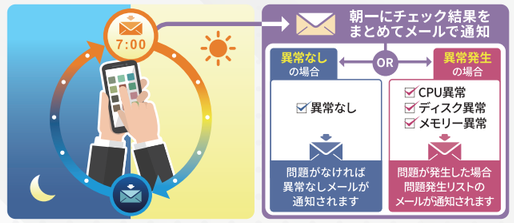
サーバーの使用状況に応じたレポートを作成。自動分析のコメントまで自動で作成するため、そのままお客様に提出可能。定期的に提出することで、顧客満足度の向上やレポートに基づく商談の創出に貢献します。



※レポート作成にはBOM ReportオプションVer.8.0が必要です

システムの正常稼働確認

システム運用において、異常を検知することだけでなく、正常に稼働しているか確認することも重要です。BOMは朝一番のシステムチェックを代行する「朝監視」やバックアップなどアプリケーションの正常稼働確認を実現可能。



豊富な監視メニュー

リソース監視系：9種類
- ディスク容量監視
- フォルダー・ファイル監視
- プロセッサ監視
- メモリ監視
- ディスク処理待ち行列長監視
- ネットワークインターフェイス監視
- ネットワークアダプター監視
- プロセス監視
- パフォーマンスカウンター監視

稼働監視系：2種類
- サービス監視
- プロセスリスト監視

ログ監視系：3種類
- イベントログ監視
- テキストログ監視
- BOMヒストリー監視

リモート監視系：2種類
- Ping監視
- ポート監視

その他の監視系：14種類
- インストールソフトウェア変更監視
- Windows Update監視
- AWS S3ストレージ容量監視
- iLOログ監視
- iRMCログ監視
- HTTPアクセス応答監視
- 重複ファイル監視
- 未アクセスファイル監視
- SNMP Get 監視
- RDS セッション監視（セッション数取得）
- RDS セッション監視（ユーザー/クライアント リスト取得）
- RDS プロセス監視（プロセス数取得）
- RDS プロセス監視（ユーザー/クライアント/セッション リスト取得）
- カスタム監視

通知アクション系：6種類
- メール送信
- SNMPトラップ送信
- イベントログ書き込み
- syslog送信
- SMTPファイル送信
- カスタム通知

リカバリーアクション系：3種類
- サービスコントロール
- シャットダウン
- 監視 有効/無効

その他のアクション系：5種類
- AWS S3 ファイル送信
- RDS クライアント通知
- RDS セッションログオフ
- HTTPS送信
- カスタムアクション

より詳細な機能やその他オプションなどは当社ホームページでご確認いただけます。
https://www.say-tech.co.jp/product/bomwin80/function